

想

FRONT
Voice

～ 当院における大腸がん
検診について ～

消化器内科 主任医長 光岡 浩志

特集 ～医療連携室の広報活動～

旬の味だより
～ 大根と春菊のナムル ～

JR九州病院 広報誌「そう」第28号



題 名：はつはる
撮 影：石井 正子
撮 影 場 所：小倉総合農事センター
撮影者コメント：まるで恥らう乙女のようなピンクの優しい花が春の歓びを
感じさせてくれます

14 立春
JR九州病院

光岡 浩志 消化器内科 主任医長



身近な方で大腸がんにかかれた方はいませんか。「大腸がんは食生活の欧米化などが原因」と言われておりここ最近男性では胃がんに次いで、女性では乳がんに次いで罹患率が高いがんです。しかし大腸がん検診となると健康増進事業の努力業務として位置付けられているものの、胃がん、乳がん、前立腺がんの他のがん検診と比較して、精密検査を受ける方が最も少なく、北九州市全体、門司区の最近の状況を見ても精密検査まで受けられる方は60%～75%と決して多くはありません。

当院では平成20年の大腸がん検診の受検数は1ヶ月に0～2人で推移し20年11月から22年6月まで16名と非常に少ない状況でした。平成22年4月～6月に当院で外科的手術を行った進行大腸がんの件数が14件と多かったため、早期発見・早期治療の観点から大腸がん検診に積極的なしょうようが必要と考え、22年7月から受検推進キャンペーンに取り組み、院内に啓蒙用のポスターを掲示し当院での大腸がん検診に関するシステムの改築を行いました。特に便潜血検査は他の検査と比較して15分程度と早く結果が出るため、便を持ってこられた当日に結果説明を行い、陽性の方(要精検者)には大腸カメラが必要である事を説明した上で、当院で検査を希望された方にはそのまま検査予約まで行なうこととしました。この取り組みの結果、平成22年は119名、24年には233名と受検者数は増加してきました(グラフ1)。

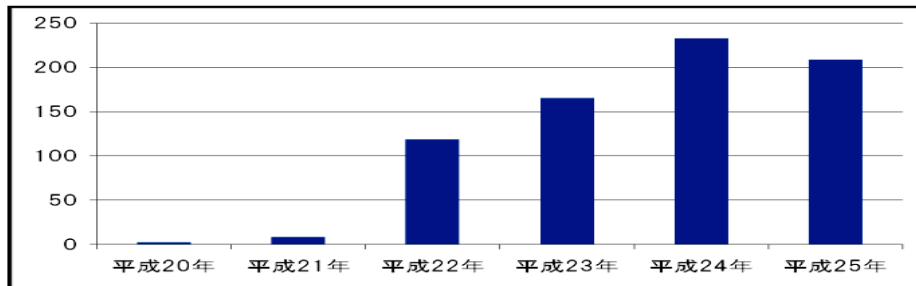
今回この取り組みにおいて、①病変の部位や診断名、②陽性回数と病変、③精度管理について分析することで、実際に早期発見早期治療に結びついたかを検証したところ、延べ受検者数は568名、要精検者数は96名、16.9%でした。そのうち大腸カメラを受けた方は84名、87.5%でした。全体では104病変を認め、治療が必要な病変はうち51病変でした。残念ながら進行しているがんが4病変ありましたが、内視鏡的治療のみで完治した早期がんも4病変でした(表1)。

当院における大腸がん検診の精度管理については、厚生労働省がん検診事業の評価に関する委員会が定めるプロセス指標値と比較すると精検受診率や陽性的中率、がん発見率はいずれも許容値を越え、目標値に近い結果となりました(表2)。

当院では消化器内科新設を機に、健康増進の一環として積極的に大腸がん検診の受検及び精検を推し進めてまいりました。今後さらに精度の高い検診システムを構築し、地域の健康増進に貢献してまいりたいと思います。

大腸がん検診は、便から検体を採取するだけです痛みを全く伴いません。北九州在住で、40歳以上の方はどなたでも受検になれます。特に70歳以上と40・45・50・55・60・65歳の方は市からの補助があるため無料となります。この機会に一度受けてみてはいかがでしょうか?ご希望の方は消化器内科外来もしくは総合受付までお問い合わせください。

(グラフ1)



(表 1)

n=84	内痔核	憩室	小腺腫	腺腫	早期癌	進行癌
盲腸		2	1	5	0	1
上行		17	5	9	0	1
横行		2	3	9	1	0
下行		3	2	6	0	0
S状		10	8	9	2	1
直腸		0	0	5	1	1
	40					
計		34	19	43	4	4

(表 2)

	プロセス指標数値		JR九州病院 (H21-25年平均)	北九州市(H20-23年度平均)	
	許容値	目標値		全体	門司区
要精検率	7.0 %以下		16.90%	11.40%	11.60%
精検受診率	70 %以上	90 %以上	87.50%	67.70%	61.00%
精検未受診率	20 %以下	5 %以下	12.50%	32.30%	39.00%
陽性反応的中度	1.9 %以上		7.30%		
がん発見率	0.13 %以上		1.20%		

特集
SOU SPECIAL

医療連携室の広報活動紹介

医療連携室では、日頃から地域を元気にする取り組みの一環として色々な広報活動を行っております。今回、その一部を紹介いたします。

院外活動(医療セミナー又は講演会等の開催)

ふれあい お食事会

門司区内の各市民センターにて、毎月第2水曜日や月の最終水曜日に「ふれあいお食事会」が開催されており、その食事の前に約20分から30分の時間を頂き当院リハビリ室の技師による「健康体操や笑いを交えた頭の体操」などの講演をさせていただいております。



健康塾(白内障の症状と治療)

8月30日(金)の午後より当院近くの市民センターにて当院、眼科主任医長による「白内障についての講演」をさせていただきました。当日は70名以上の方々にお集まりいただき、白内障の状態や治療法についてわかりやすく解説をして、日頃は聞けない質問なども出ておりました。



PR活動

今回ご紹介したような院外活動の他に、広報誌「想」の発行や毎月行っている「生活習慣病に関する教室」～さよならメタボ教室～のPRなどを行っております。これから先も地域のみなさまのお役にたてるよう取り組みを続けてまいります。



旬の味だより

この季節にピッタリのお料理をご紹介します♪

大根と春菊のナムル



【1人あたりのカロリー】 約97Kcal

材料(2人分)

・大根	100g(5cmくらい)	・いりごま	大さじ 1
・春菊	60g(約1/2袋)	・砂糖	小さじ 2
・もやし	100g(約1/2袋)	・粉とうがらし	小さじ1/2
・にんにく	小さじ1/2	・酢	大さじ 1
・塩	小さじ1/3	・ごま油	小さじ 2

作り方

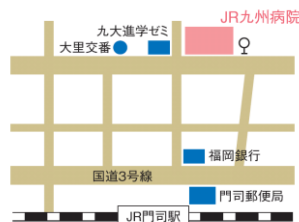
- ①大根は太めのせんぎり、春菊は5センチの長さに切る
もやしは軽く洗っておく
- ②塩(分量外)を入れた熱湯で1を軽くゆで、ざるにあげる。
水気をよく切っておく
- ③2に、にんにくをすりおろし、塩、いりごま、砂糖、粉とうがらしを加え混ぜ合わせる
- ④3に酢、ごま油を加えてさらに混ぜ、器に盛る

春菊は北九州名産の大葉春菊を使うと、食べやすいですよ。
野菜が少ないときに、ぜひ作ってみて下さい。



JR九州病院 管理栄養士 佐伯 昌子

JR九州病院のご案内



〒800-0031 北九州市門司区高田2丁目1番1号

TEL (093) 381-5661

FAX (093) 381-1077

JR門司駅から徒歩10分/西鉄バス高田二丁目下車徒歩1分

JR九州病院 ホームページ

<http://www.jrkyushu-hospital.jp/>

JR九州病院

検索

【当院理念】

私たちJR九州病院は、
安全で良質な医療サービスの提供を通じて、
安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

【当院基本方針】

1. 患者さんの安全と、安心できる医療環境の整備に努め、医学的根拠に基づいた良質な医療の提供を行います。
2. 患者さん、ご家族への説明と同意とともに、患者さんの意思と権利を尊重した医療を行います。
3. 医療連携を通じ、地域に開かれた中核病院として、医療の充実に努めます。
4. 職員の相互理解とたゆまぬ研鑽を通じて、活気ある職場を目指します。
5. 医療資源の有効活用と健全な病院運営を行います。

編集後記

朝、布団から出るにも一苦労の寒い冬が続いております。
今年最初の広報誌はいかがでしたでしょうか？昨年同様に皆さまには広報誌「想」でよりよい情報を発信していきたいと思っております。この冬はまたインフルエンザやノロウイルスが流行る時期でまだまだ気を抜けない今日この頃です。
春の足音は、少し遠いようですが暖かな日だまりにホッと出来る日が待ち遠しいですね。
皆さまも体調管理をしっかりおこない、暖かい春の到来を心待ちにしましょう。

臨床検査技師 有吉 大悟

想(そう) 立春号(通巻28号)
平成26年2月発行(季刊)
発行人:林田 一洋(JR九州病院 院長)

JR九州病院 広報委員会「つばめ」
副院長 亀井 隆史
事務長 豊饒 英之
看護部 柴田 朋子、金森 尚美
薬剤科 白江 泰代
中央放射線室 石井 佳人
リハビリテーション室 山下 真由子
中央検査室 有吉 大悟
医療連携室 下田 清隆
総務課 藤木 泰治、吉田 利枝

編集・発行・印刷:JR九州病院
北九州市門司区高田2丁目1番1号
TEL 093-381-5661